

評価シート（年度評価）

名古屋市重症心身障害児者施設の管理運営状況

1 基本情報

＜所管局：健康福祉局＞

指 定 管 理 者	社会福祉法人むつみ福祉会		
主な業務内容	名古屋市重症心身障害児者施設の運営		
評価対象期間	平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月	指定管理期間	平成 27 年 4 月～令和 7 年 3 月

2 評価結果

評価項目			評価 区分	特記事項
1 基 本 事 項	(1) 平等利用	市民の利用にあたって不公平が生じていないか。	○	
	(2) 情報管理	情報の管理・保護が適切になされているか。	○	
	(3) 職員体制	職員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。	○	
	(4) 法令等の遵守	法令、協定書等を遵守しているか。	○	
	(5) 事故・災害等への対策・対応	事故・災害等発生時の対策・対応が行われているか。	○	
	(6) 環境配慮	環境に配慮した取組みを行っているか。	○	
2 維 持 管 理	(1) 建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理されているか。	○	
	(2) 警備業務	安全で安心感のある環境を確保しているか。	○	
	(3) 衛生管理	利用者が快適に、安全に利用できるような状態が保持されているか。	○	
	(4) 備品の管理	備品が適切に管理されているか。	○	
3 サ ー ビ ス	(1) 生活支援	在宅生活が困難な重症心身障害児者に対して、入所により適切な支援を行っているか。	○	
	(2) 在宅支援	重症心身障害児者及びその家族に対して、在宅生活の移行・継続の支援をしているか。	○	
	(3) 地域連携	クオリティライフ 21 城北、地域社会、関係機関等との連携強化に努めているか。	○	
	(4) 広報・P R の実施	施設及び事業の P R の取組みは行われているか。	○	
	(5) 受付・応対	受付・応対は適切に行われているか。	○	
	(6) 苦情・要望の把握・対応	利用者及びその家族の意見や苦情等に適切に対応しているか。	○	
	(7) 利用者満足度	調査を行い、結果を検証し、改善を図っているか。	○	
4 経 費 等	(1) 執行状況	指定管理料の執行等は適正になされているか。	○	
	(2) 収支状況	当初の計画通りの収支状況になっているか。	○	
	(3) 再委託	再委託の方法は適正か。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
概ね適切に管理運営が行われている。 施設入所において、定員 80 名に対して年度末時点で入所者が 73 名となり、稼働率 90%を超えた。 ご家族との連絡票を改訂し、短期入所利用者の方のより詳細な情報の共有を図る等、利用者満足度調査での回答、意見に対する事務改善を行った。 新型コロナウイルス感染症への対応を早期から行い、利用者の方の安全確保に努めた。

施設の現状

名古屋市重症心身障害児者施設

施設の現状	施設概要							
	重度の知的障害及び重度の肢体不自由が重複している障害児及び障害者に対し、保護、日常生活の指導、訓練、医療の提供等を行うことにより、障害児及び障害者の福祉の向上に寄与することを目的として設置された施設です。 指定期間については、利用者と施設職員との継続的な信頼関係が必要であること、また、安定した経営や専門性の高い人材の確保が必要であることから、原則(4年)より長い10年としております。							
	市の収支状況(千円) (令和元年度決算見込み額)							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	1,179,675	845	1,180,520	906,041	16,185	258,294	1,180,520	
	特記事項							
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	年度末における入所者数 (定員80人)	人	38	51	58	64	73	
	3月における短期入所平均利用者数 (定員10人)	人	3.39	5.10	6.71	7.19	7.04	
	年度末の入所者数における医療依存度が高い重症心身障害児者数の割合	%	39.47	41.18	37.93	32.81	38.36	
	特記事項							
	平成27年4月1日開設。利用者の受け入れを段階的に実施。 令和元年度の短期入所平均利用者数については、令和2年1月から3月においてインフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症による利用休止があったため、令和元年12月における平均利用者数。							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載

評価シート（中間評価）

名古屋市重症心身障害児者施設の管理運営状況

1 基本情報

<所管局:健康福祉局>

指 定 管 理 者	社会福祉法人むつみ福祉会			
主な業務内容	名古屋市重症心身障害児者施設の運営			
評価対象期間	平成 27 年 4 月～令和 2 年 3 月	指定管理期間	平成 27 年 4 月～令和 7 年 3 月	

2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目			評価区分					特記事項
			H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元 年度	
1 基 本 事 項	(1) 平等利用	市民の利用にあたって不公平が生じていないか。	○	○	○	○	○	
	(2) 情報管理	情報の管理・保護が適切になされているか。	○	○	○	○	○	
	(3) 職員体制	職員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。	○	○	○	○	○	
	(4) 法令等の遵守	法令、協定書等を遵守しているか。	○	○	○	○	○	
	(5) 事故・災害等 への対策・対応	事故・災害等発生時の対策・対応が行われているか。	○	○	○	○	○	
	(6) 環境配慮	環境に配慮した取組みを行っているか。	○	○	○	○	○	
2 維 持 管 理	(1) 建物・設備 の保守点検	建物・設備が適切に管理されているか。	○	○	○	○	○	
	(2) 警備業務	安全で安心感のある環境を確保しているか。	○	○	○	○	○	
	(3) 衛生管理	利用者が快適に、安全に利用できるよう な状態が保持されているか。	○	○	○	○	○	
	(4) 備品の管理	備品が適切に管理されているか。	○	○	○	○	○	
3 サ ー ビ ス	(1) 生活支援	在宅生活が困難な重症心身障害児者に対して、入所により適切な支援を行っているか。	○	○	○	○	○	入 所 者 数 (各年度末時点) H 2 7 : 38 人 H 2 8 : 51 人 H 2 9 : 58 人 H 3 0 : 64 人 R 元 : 73 人
	(2) 在宅支援	重症心身障害児者及びその家族に対して、在宅生活の移行・継続の支援をしているか。	○	○	○	○	○	
	(3) 地域連携	クオリティライフ 21 城北、地域社会、関係機関等との連携強化に努めているか。	○	○	○	○	○	
	(4) 広報・P R の実施	施設及び事業の P R の取組みは行われているか。	○	○	○	○	○	短期入所利用者 (1 日平均) H 2 7 : 3.39 人 H 2 8 : 5.10 人 H 2 9 : 6.71 人 H 3 0 : 7.19 人 R 元 : 7.04 人
	(5) 受付・応対	受付・応対は適切に行われているか。	○	○	○	○	○	
	(6) 苦情・要望 の把握・対応	利用者及びその家族の意見や苦情等に適切に対応しているか。	○	○	○	○	○	
	(7) 利用者満足度	調査を行い、結果を検証し、改善を図っているか。	○	○	○	○	○	
4 経 費 等	(1) 執行状況	指定管理料の執行等は適正になされているか。	○	○	○	○	○	
	(2) 収支状況	当初の計画通りの収支状況になっているか。	○	○	○	○	○	
	(3) 再委託	再委託の方法は適正か。	○	○	○	○	○	

年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）	
平成27年度	入所者個々の摂食嚥下のリハビリに努めるなど、障害の状況に合わせた適切な支援を行っている。また、短期入所の1日あたりの平均利用者数が目標値を超えるなど、在宅生活の継続の支援にも努めており、適切に管理運営が行われている。
平成28年度	概ね適切に管理運営が行われている。 平成28年度より、重症心身障害児者の家族や障害福祉サービス事業所等の職員に対して、医療的ケア、介護等の研修を実施するなど、入所による生活支援だけでなく、在宅生活への移行、継続支援にも努めている。
平成29年度	概ね適切に管理運営が行われている。 理学療法士を増員し、施設利用者の家族から要望のあったリハビリの実施回数を増加（週1回→週2回以上）するなど生活支援の向上に努めている。 また、障害福祉サービス事業所等の職員に対して、医療的ケア、介護等の研修を実施するなど、在宅生活への移行、継続支援にも努めている。
平成30年度	概ね適切に管理運営が行われている。 在宅支援の一環である短期入所において、鼻腔栄養チューブの再挿入を職員対応に変更し、家族の負担を軽減するなど、支援の向上に努めた。 接遇研修等を実施し、生活支援員や看護師を始めとする職員の質の向上を図った。 平成30年11月に賞味期限切れ食品提供の事案が発生したが、給食委託業者と在庫管理の仕組みの見直しを行うなど、再発防止を徹底した。
令和元年度	概ね適切に管理運営が行われている。 施設入所において、定員80名に対して年度末時点で入所者が73名となり、稼働率90%を超えた。 ご家族との連絡票を改訂し、短期入所利用者の方のより詳細な情報の共有を図る等、利用者満足度調査での回答、意見に対する事務改善を行った。 新型コロナウイルス感染症への対応を早期から行い、利用者の方の安全確保に努めた。

3 利用状況等

具体的な取り組みや成果等
アンケートでの入所希望の調査等によるニーズの把握や施設のPR、受け入れ体制の整備を行いながら、利用者の受け入れを段階的に実施してきた。令和元年度末には、施設入所の定員80名に対して73名の入所となり、90%を超える受け入れを実現した。

4 収支状況等

具体的な取組みや成果等
指定期間前半期を通じ、指定管理料は適切に執行されている。

5 利用者の意見や満足度等

利用者の意見や満足度等の内容・推移
利用者満足度調査において、「良い」「まあまあ良い」と回答いただいた割合は、指定期間前半期を通じて 80%前後の高い数値を維持している。

6 総合評価

所管局のコメント・特記事項等
指定期間前半期を通じ、概ね適切に管理運営が行われている。 接遇研修等の実施、満足度調査の結果やご家族のご要望への対応などにより、利用者の方への支援の向上に努めている。令和元年度末においては、施設入所の定員 80 名に対して 90%を超える入所を達成した。短期入所についても 1 日平均利用者数が定員 10 名の 70%を超えており、安定した運営が行われている。